

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	現在までは、目の前にある課題解決に重点が偏っていた。それにより、ケアの本質や施設への思いについて各々が主低的に意見提示する機会が不十分となっていた。	自施設において「こんなことをしたい」「こんな施設であつたら」等の思いが職員間で言語化でき、それによりケア資質の向上へとつなぐ機会としていくことができる。	議題の事前提示を活用し、職場会議でのカンファレンス充実と介護姿勢の職場づくりへの反映。GHならではのレクや行事を通しての施設内対話の増加をし、運営の基礎を固めていく。	12ヶ月
2	10	家族会準備や運営への職員全員参加が不十分である。また、家族と職員の交流がまだ十分とはいえない。	職員が家族交流の有効性を認識でき、日頃の交流を大切にでき、家族会運営にも積極的に参加できる。	特に担当者は家族との関係構築を強化。そのために日頃の報告や相談を積極的に行うようにする。関係構築過程で得られた課題を家族会運営に反映する。 27年度は家族会を上期・下期の2回実施する。	12ヶ月
3	4	推進会議参加者が固定されている。また利用者参加や代表以外の家族参加が出来ていない。また、地域広報も十分とは言えない。	推進会議に利用者や代表外のご家族参加をつくり、推進会議の存在を知っていただくようにする。 自治会等の近隣住民の方の意見受けを十分にもつことができる。	推進会議開催曜日の見直し。 是非してもらいたい行事との抱き合わせ開催。 地域への広報活動を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月